



道徳通信

教員用

NO. 20

平成29年3月2日発行
道徳教育推進委員会

今年度の道徳の授業（1年生実施分）は、すべて終了しました。後は2年生の通学路清掃等が残っている状況です。

平成28年度を取組を振り返って

実際に授業を実施していただいた1学年の先生方に感謝申し上げます。今年度は、学年全体で統一テーマの下、授業を実施していただきました。

実際の授業では、思い通りの展開にならなかったクラスもあったことと思います。改善点を今後に活かしていきたいと思いますので、後ほど御意見をいただければ幸いです。

年度当初に設定した目標の多くは、何とか達成することができました。後は、授業の内容がどれだけ生徒に響いたのかという点、授業の質の問題ということになるでしょう。

今年度も、毎回授業を実施した後に、授業実施者の先生方に報告をしていただいています。概ね良好な報告をいただく一方で、今後の反省点と思われる報告もなされるようになりました。

表面的に静かな展開が、真剣に取り組んだ良い展開かという根本的な問題を突き付けられているようにも思われます。時には、生徒の内面に踏み込んでいく指導も必要なのではないかと実感した次第です。

この点を心に留めて、来年度以降の取組に臨んでいただければと思います。

※実施報告から一部引用

- 「真剣にDVDを見て考えている者と、そうでなく、隣と話をしながら、何となく取り組んでいる者との二極化」が見られる。
- 「自分の意見を持って隣と相談し発表するスタイルにしてみたが、そこまでのレベルに達していない」

来年度に向けての改善点

上記の点を見るためには、年度当初の生徒の状況と年度末の状況を見る必要があります。何らかの形で、生徒自身に振り返らせるアンケート等の実施も視野に入れながら準備を進める必要があるのではないのでしょうか。